



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

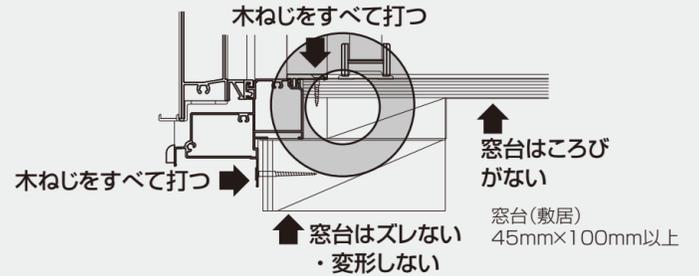
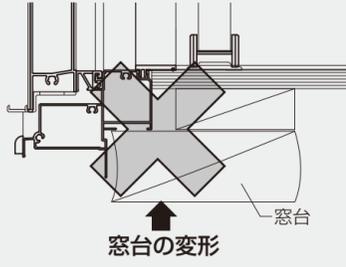
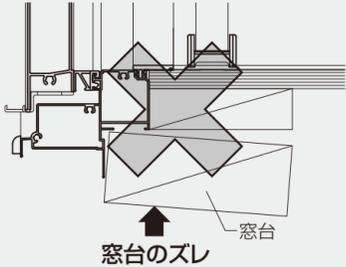
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲注意

●本製品は複層ガラスを使用した場合、製品重量が最大65kgとなります。本体吊込みは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。

●風のおおりなどによるドア本体の落下・枠や外壁材の損傷の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。  
・必ず45mm×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。



・吊元側(丁番側)の枠は、くだ柱に取付けてください。やむを得ず間柱に取付ける場合は、間柱とくだ柱との間に補強材として構造用合板、又は胴縁(30mm×90mm)を入れてください。

●漏水防止のため、下記事項をお守りください。

・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。

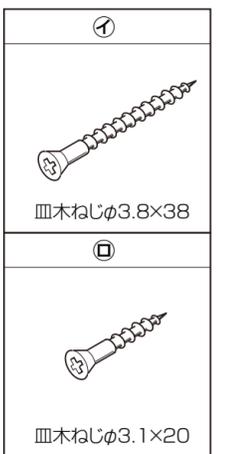
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

## ■取付け上のお願い

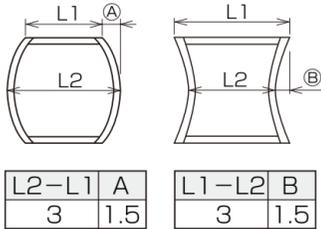
- 必ず指定の木ねじで枠を固定してください。
- 縦枠は必ず垂直に取付けてください。
- 本体は枠を躯体に固定した後、吊込んでください。
- 本体の吊込み後、必ずチリ合わせブロックを外してください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当たった状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。

- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- 躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

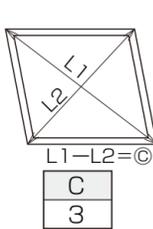
## ■取付けねじ一覧表



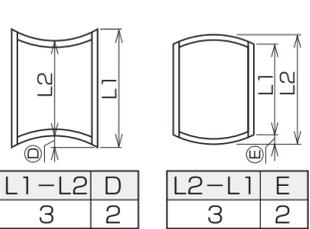
## ■サッシ枠のフレ・ツツミ



## ■サッシ枠対角差



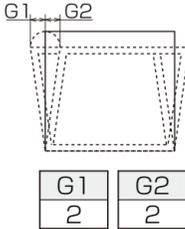
## ■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ



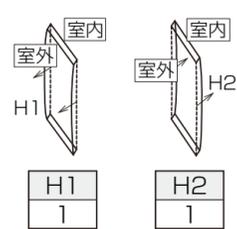
## ■サッシ枠のねじれ



## ■サッシの倒れ



## ■サッシ枠の室内外のソリ

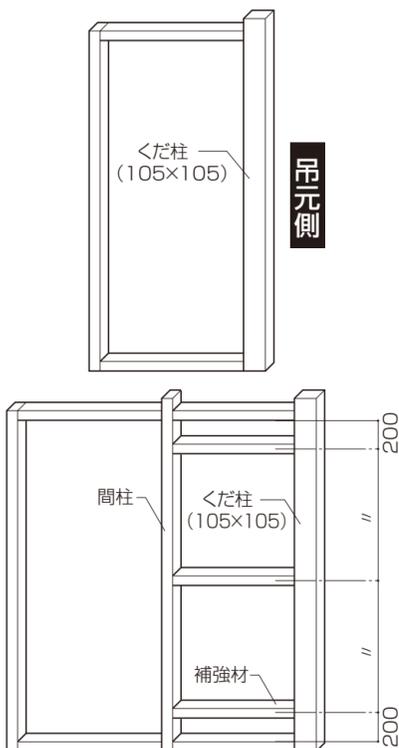


## ■取付け順序

### 1 躯体の確認と補強

#### ▲注意

- 吊元側(丁番側)の枠は、くだ柱に取付けてください。やむを得ず間柱に取付ける場合は、間柱とくだ柱との間に補強材として構造用合板、又は胴縁(30mm×90mm)を入れてください。

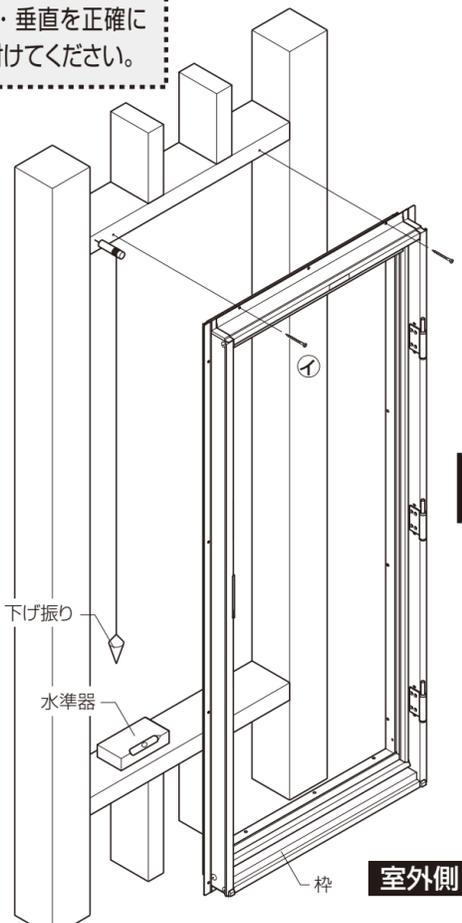


### 2 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

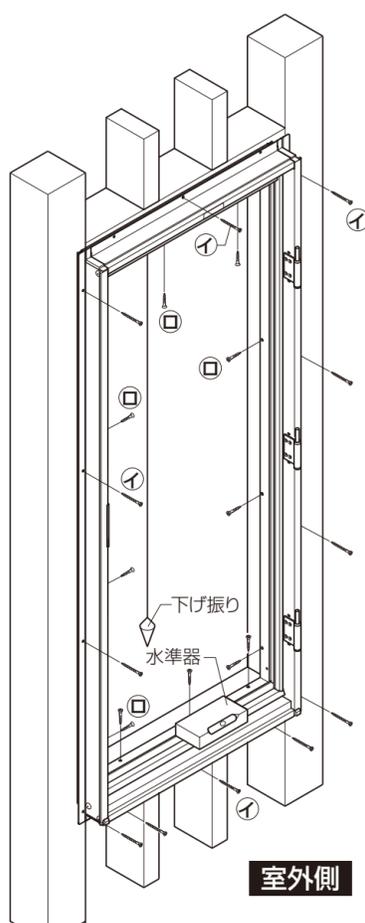
#### ▲注意

- 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。



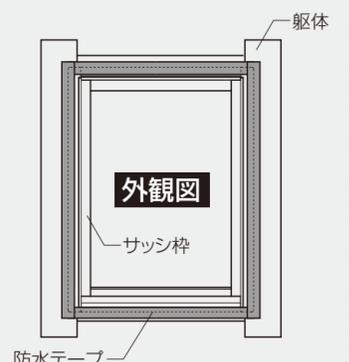
### 3 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。  
※縦枠は、必ず垂直に取付けてください。(開閉障害・すき間が生じるおそれがあります。)



#### ▲注意

- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



#### お願い

※枠の取付けの際には、冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など不具合が生じるおそれがあります。

#### 4 本体の吊込み

①ドアを90°以上開き、上の丁番から吊込みます。

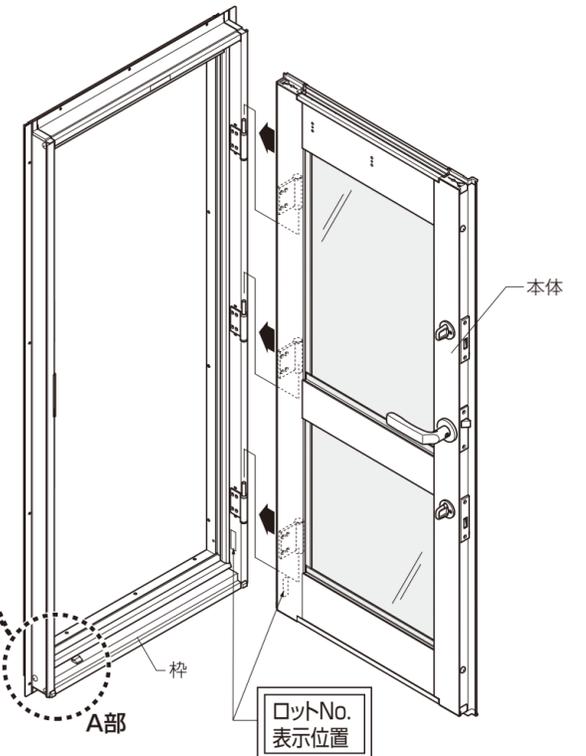
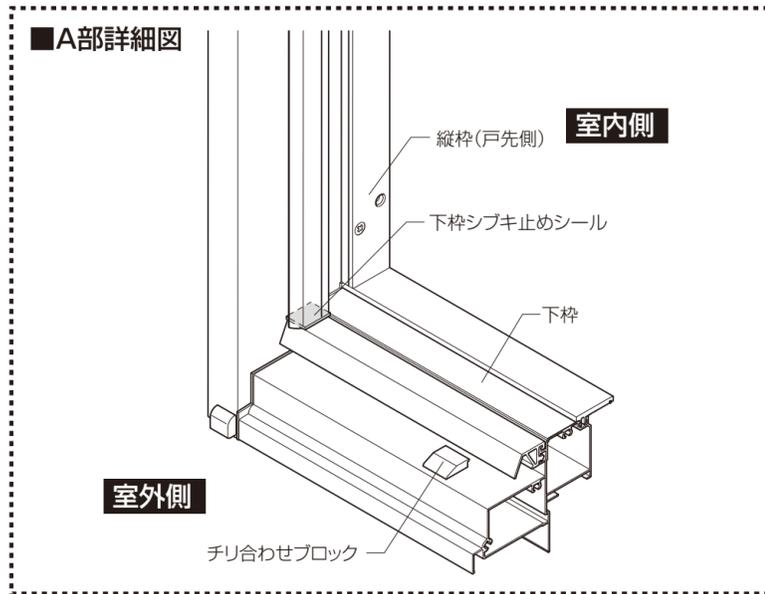
※丁番は在来工法のランマ無し枠でH20（サッシH2030）以下の場合には2枚、H20より大きい場合は3枚付いています。

②下枠に両面テープで張ってあるチリ合わせブロックを外します。

##### お願い

※施工完了後は、必ずチリ合わせブロックを取外してください。（ドアの開閉に支障がでます。）

##### A部詳細図



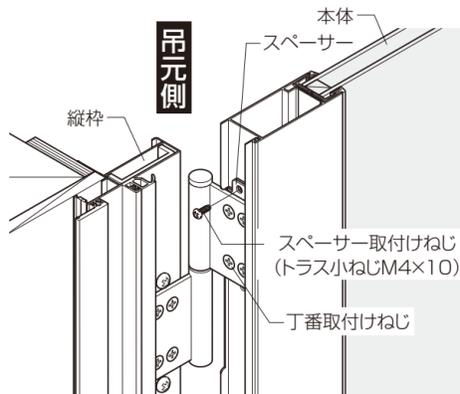
■建付け調整……ここで説明する建付け調整は、枠を取付けた後で調整が必要になった場合の補助的なものです。

##### ■左右方向の調整

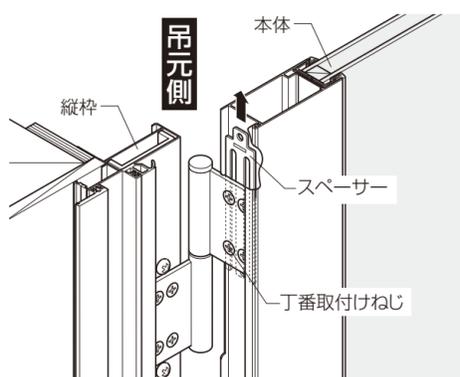


※スペーサーはあらかじめ本体に取付けてあります。

- ①スペーサー取付けねじを外します。
- ②丁番取付けねじ（4本）をゆるめます。



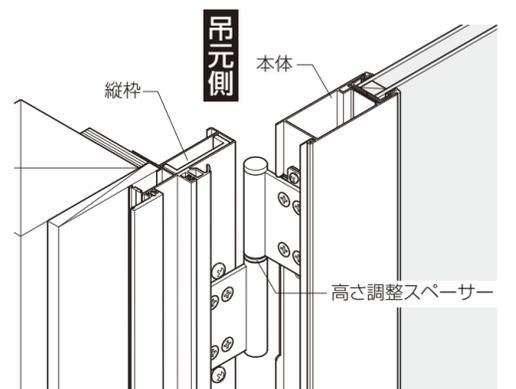
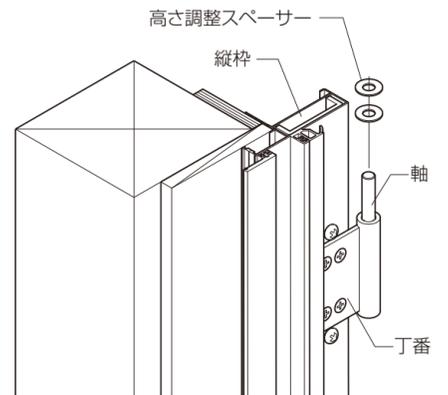
- ③スペーサーを引抜いて外します。
  - ④丁番取付けねじを締付けます。
- ※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mm、本体が吊元側へ寄ります。  
 ※樹脂丁番スペーサーの場合、1枚外すと1.75mm、2枚外すと3.5mm、本体が吊元側へ寄ります。（樹脂丁番スペーサーは2つ折りの為、切り離してご使用ください。）  
 ※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。



##### ■上方方向の調整



- 本体を枠から外し、丁番の軸に高さ調整スペーサー（丁番と同梱）を入れます。
- ※1枚入れると1.5mm、2枚入れると3mm本体が上がります。



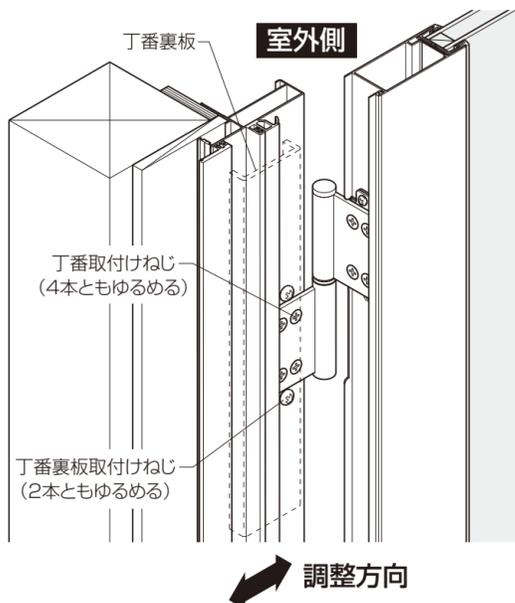
##### ■前後(室内・室外側)方向への調整

- ①ドア本体を枠から外し、枠側の取付けねじ（4本）と丁番裏板取付けねじ（2本）をゆるめます。

##### お願い

※取付けねじ全部を外さないでください。丁番裏板が脱落します。

- ②丁番裏板ごと室外側に1.5mm、室内側に1.5mm、ドア本体を移動させることができます。
- ③①でゆるめた丁番取付けねじと丁番裏板取付けねじを締付けます。



##### ■ストライクの調整

- ラッチがかからない場合はストライクの取付けねじをゆるめ、ストライクの位置を調整してください。

